

キャンプ用一酸化炭素チェッカー 2 CG1-559

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

**取扱説明書はWEB上からダウンロードできます。**

DOD キャンプ	検索
----------	----

www.dod.camp

DODの新製品情報などについては下記SNSもご覧ください。



ご使用上の注意（ご使用前に必ずお読みください）

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。

- 本製品はテントや自動車内の空気における一酸化炭素濃度の測定と注意喚起を目的として設計されています。それ以外の用途に使用しないでください。
- 本製品はその測定結果、及びその利用による結果を保証するものではありません。
- 各部の構成をよく把握し、順序に従って取扱ってください。
- 本製品はテントや自動車内における火気の使用を助長するものではありません。また本製品の使用による事故についての責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 小さなお子様の手の届かないところで使用してください。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品が一酸化炭素を検知し、ライトの点滅やアラーム音を発したら、ただちに一酸化炭素中毒防止のために必要な全ての処置を行ってください。
- 本製品を設置している場合でも、テント、タープ内で火気を使用したり、高温に加熱されたものを持ち込まないでください。火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- 本製品の動作に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。
- 本製品は、一酸化炭素濃度の危機管理や人や動物の健康管理、生命維持、またその他医療関連施設での使用を意図していません。

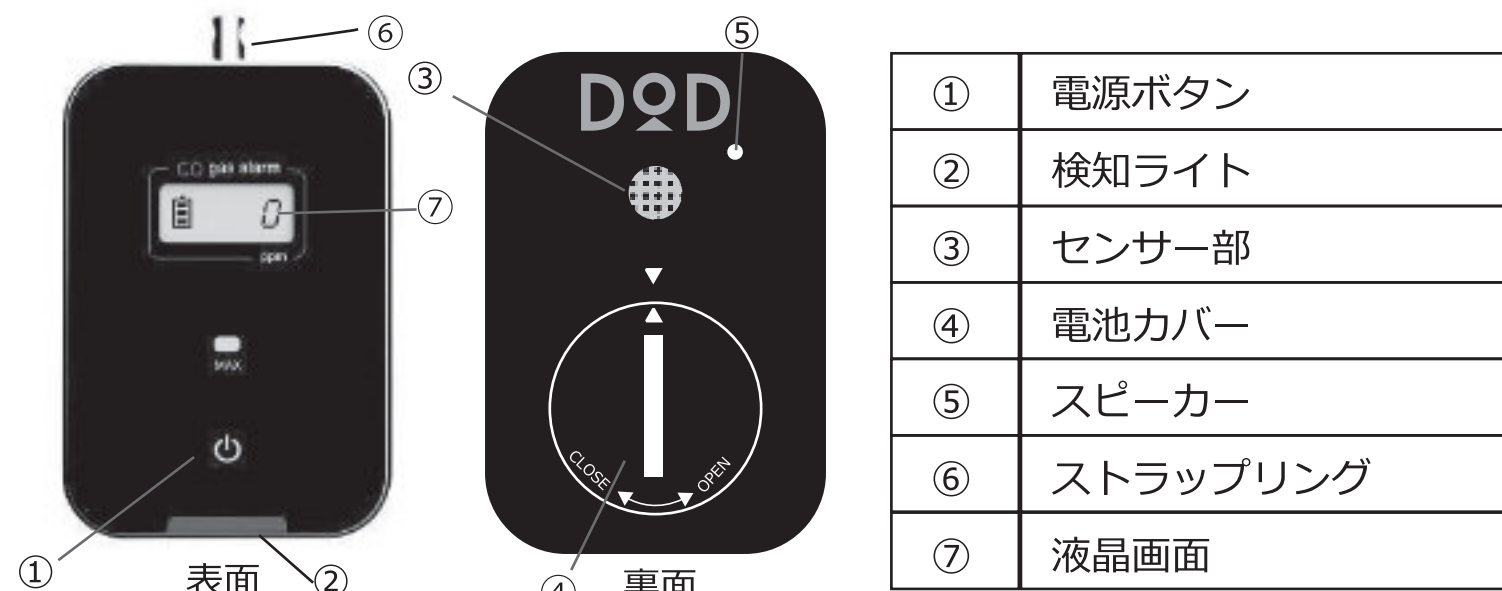
注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品は防水仕様ではありません。濡らしたり、野ざらしにしないでください。
- 電池をセットする際、電源をオンにする際は必ず綺麗な空気で行ってください。煙内や排気ガスが充満しているような場所で起動すると、測定値が正しく表示されなくなる可能性があります。
- 内蔵センサーの寿命は5年です。経年により検知機能が低下するため、必ず本体ごと買い換えてください。
- センサー部分および本体の周囲に物を置かないでください。検知機能が低下する恐れがあります。
- 落下させるなど、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 分解や改造、修理はしないでください。
- 長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。電池の液漏れにより、製品が破損したり、火災、ケガなどの原因となる恐れがあります。

収納、保管について

- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- 長期間使用されない場合は、電池を抜き取って保管してください。液漏れする恐れがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- 幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

各部の名称



製品仕様

【材質】プラスチック、アルミニウム【電池】CR2032 × 2
【原産国】中国（センサー部のみ日本製）【動作温度】-5℃～50℃
【動作湿度】15～90%RH【測定範囲】0～999ppm
【長期安定性】5%以内 / 年【再現性】±2%

< 電池のセット方法 > ※ご購入直後は必ず新しい電池をセットしてください。



1. 本体裏面の電池カバーを外します。コイン等を電池カバー中心の溝にあて、OPENの方向（反時計回り）に回します。本体を裏返すとカバーが外れます。



2. 電池をセットします。CR2032の+極側を上にして、1枚ずつ入れてください。この際、黒ストッパー側を先に通すようにして電池を入れてください。※電池を交換する際は、銀ストッパーを右方向に押ししてください。電池の固定が外れますので押しながら裏返し、電池を落とすように外してください。



3. 電池カバーをはめて、CLOSEの方向（時計回り）に回してセット完了です。

< 使用方法 >

本体を起動する際は、必ず綺麗な空気中で行ってください。煙内や排気ガスが充満しているような場所で起動すると測定値が正しく表示されなくなります。

1. 電源ボタンを長押しして本体を起動します。
2. 起動音が鳴り、約3分間は液晶画面に「CAL」と表示されます。この間は綺麗な空気中に放置してください。※CAL表示中は一切操作できません。
3. 3分経過すると再度起動音が鳴り、液晶画面に数字が表示されます。空気中の一酸化炭素濃度を自動で測定します。※本製品の設置場所は火気の近くではなく、人が密集しているリビングスペースや寝室等に設置してください。また設置の際にセンサー部が障害物等に覆われていないか必ず確認してください。
4. アラーム作動範囲は下記表のとおりです。基準値を越えた一酸化炭素を5分以上検知し続けると下記基準のとおり警告がおこなわれます。

アラーム作動範囲		ppm別の一酸化炭素中毒症状の目安		
※範囲内に達してから5分後に作動します。		(ppm)	200	2～3時間内に軽い頭痛
200～299ppm	: 検知ライト点滅	400	2.5～3.5時間で後頭痛	
300～399ppm	: 点滅+アラーム遅	800	2時間で失神	
400ppm～	: 点滅+アラーム早	1600	2時間で致死	
		3200	30分で致死	
		6400	10～15分で致死	
		12800	1～3分で死亡	

※後頭痛とは首筋から後頭部にかけて発生する頭痛

5. 検知ライトの点滅やアラーム音が鳴り始めた場合は、ただちに一酸化炭素中毒防止のために必要な全ての処置を行ってください。ppmが規定の数値を下回ると自動でライトの点滅やアラーム音は停止します。※一酸化炭素中毒の症状は人によって異なります。200ppm以下であっても定期的に換気を行ってください。

< 最大ppmの表示 >

検知した一酸化炭素濃度の最大値を表示することができます。

最大値は自動的に記録されますが、電源を切ったり電池を抜いたりするとリセットされます。



電源ボタンを押すと中央部のライトが光り、液晶画面に一酸化炭素濃度の最大値が表示されます。※CAL表示中は最大値の表示はできません。

よくあるご質問

Q.電源を入れた直後に数値が急上昇する

- A. 常に正しい数値を検知するため、当製品には自動校正機能を備えています。そのため電源を入れた直後にセンサーが自動校正に入り一時的に表示される数値が上昇する場合がございます。電源を入れてから5、6分ほど放置すると解消されます。
- それでも解消されない場合は以下をお試しください。
- ・センサー部分にエアダスター等を噴射し本体内部に溜まった空気を取り除く。
 - ・十分な電池残量のある新品の電池に交換する。
 - ・空気の綺麗な場所へ移動し、電池を一度抜いて再起動する。

Q.電源を入れても数値が変化しない

- A. 長時間電池を抜いた状態が続くと、センサーが正しく起動しない場合があります。電源を入れてから5、6分ほど放置すると解消されます。または、電池を一度抜いてから再起動することで解消する場合があります。

Q.バッテリーマークが常に点滅する

- A. 電池残量が不足するとバッテリーマークが点滅します。十分な電池残量のある電池を**2個セット**してください。新品の電池であったとしても十分な電池残量でない場合がありますので、電池チェッカー（別売り）で電池残量を確認してください。

Q.正常に動作するかを確認したい

- A. 一酸化炭素中毒の恐れがあるため屋外など空気がよく循環する場所でおこなってください。確認の際には十分にお気を付けてください。
- （一酸化炭素が排出されるもの一例）
- ・火を熾した炭
 - ・タバコの煙
 - ・自動車の排気ガスなど

Q.本体に無数のキズがある

- A. 工場出荷の段階で本体の表面、裏面ともにキズ防止用フィルムを貼り付けております。フィルムを剥がしていただくと綺麗な状態でご使用頂けます。



Q.綺麗な空気中でも数値が0にならない/戻らない

- A. センサーに一酸化炭素がわずかに残留している場合や、校正のスズなどが考えられます。10分ほど放置しても変わらない場合は、**再起動をしてください。**